

卸売業新春トップインタビュー

三井食品

萩原伸一 社長



また、営業部門は原則直行直帰、それ以外は従業員を2つのチームに分け、それぞれの出勤日を交互に

「コロナ禍で環境が劇的に変化した」
 感染症対策として、三密行動の禁止や事業所の換気の励行をはじめとした基本的な対策はもちろん、物流協力会社にも出勤や休憩時間をずらしたり、通路の人員配置を工夫するといった物理的な対策をお願います。お客様にご迷惑をかけることを最優先に努めています。

三井食品は今期、新中期経営計画初年度を進行している。三井物産流通HDのもとで、物産グループ4社の連携をこれまで以上に強化し、中長期的な成長戦略を進めている。物流機能の拡充をはじめ、グローバル施策として、顧客価値向上のための輸入商材の提供など、顧客貢献を重視した取り組みを強化している。萩原伸一社長に語っていた。

「事業概要」
 当社は大手卸の中でも業務比率が高いため、全社の売り上げに大きく響いてしまった。量販店向けは堅調も、業務用の分まではカバーしきれず、CVSも厳しい状況で推移した。業容にそれぞれ特徴がある大手卸の中で、その違いがここまでの差になることはなかった。

「事業概要」
 昨年4月から新中計をスタートした。新中計「中期経営計画2023」では、4つの「基(基軸・基盤・基準・基本)」を固めて収益を拡大し、積極的な投資を進めることを掲げた。

三井物産と連携し成長戦略を推進

「事業概要」
 前中計での反省点を顧みながら、業容全体の見直しや今後の得意分野をどう高めていくかといったことを再考して、具体的行動に落とし込んだプロジェクトを数多く策定した。お客様の価値とその先の消費者(来店客)への価値に対してどうだけ貢献できるか、という視点で、具体的な行動としてのマンパワーをどれだけつぎ込めるかが重要になる。コロナ禍で出鼻をくじかれたが、個々のプロジェクトは進行している。例え

「編集後記」
 三井食品は、以前から輸入ビールの販売を得意としており、1975年(昭和50年)に取扱開始した「プリモ」(ハワイ)を皮切りに、「シメイ」(ベルギー)、「リンデマンス」(同)、「バラデン」(イタリア)、「ピナノ」(タヒチ)といった世界各地の付加価値の高い銘柄を展開し、日本のクラ

「編集後記」
 ば物流関連の取り組み、これまでには賃借物件が主体で、配送業者の値上げ等の影響を受けやすかった体制を、親会社の三井物産流通HD、三井物産、三井物産流通HD傘下のグループ各社と連携して、変動費に左右されにくい自社物件の積極的な設置に向けての投資について検討している。物流合理化や経費コントロールを追求しながら、お客様に対してどのような貢献ができるか、そしてそのお客様が喜んでいただけるような来店客へのサービス提供

「編集後記」
 が何か、に対して真摯に向き合い、お客様からの信頼を得ることで企業体質の強化につなげていく。

「編集後記」
 萩原社長は、「日本にチョコレート原料を供給してきた歴史もあり、日本人

「編集後記」
 フトビール市場をけん引している。直近では輸入菓子「ファッツェル」、輸入果実「ペルー産みかん」の取り扱いを開始し、グローバルな視点で新たな市場開拓にチャレンジしている。

「編集後記」
 にとっては馴染みのある懐かしい味だと感じてくれるだろう。高質スーパー中心での取扱いを想定した製品だ」と、味や品質への自信を滲ませていた。



「編集後記」
 「シメイビール」も言うに及ばず、これらの製品は、「歴史」や「ストーリー性」を語れることと「品質」「味」への矜持が共通している。三井食品はそういった製品をじっくり育成するのに長けている。

「編集後記」
 輸入業務はもちろん、卸業務であっても、品質を追求し胸を張って人に薦められる商品を送り出さなければならぬという自負を、萩原社長の真摯な姿勢から強く感じた。三井食品が目指す顧客貢献重視と消費者には、「結局はお客様がお店に来てくれてなんぼ、商品をどれだけカゴに入れてくれてなんぼ」という商売の出発点が包まれており、行き着くところは「消費者がどれだけ喜んで幸せを感じてもらえるか」ということになるのだろう。

「編集後記」
 長引くコロナ禍で消費者の所得減少も想定されるなか、萩原社長は、「今後、価格競争を背景

「編集後記」
 三井食品は、そういった意識や真摯な姿勢を大切にしながら、顧客と消費者への貢献を目指しているのだと、今回のインタビューを通じて改めて感じた。

「編集後記」
 にした「安かろう悪かろう」の商品が蔓延しないか」という懸念を抱いていた。「質は悪いが、法律の範疇だから問題ない」といった、自分の家族にも食べさせたくないような粗悪な商品を製造したり販売する姿勢が罷り通る業界であってはならない」とも強く語っていた。

「編集後記」
 三井食品は、そういった意識や真摯な姿勢を大切にしながら、顧客と消費者への貢献を目指しているのだと、今回のインタビューを通じて改めて感じた。

「編集後記」
 三井食品は、そういった意識や真摯な姿勢を大切にしながら、顧客と消費者への貢献を目指しているのだと、今回のインタビューを通じて改めて感じた。

「編集後記」
 三井食品は、そういった意識や真摯な姿勢を大切にしながら、顧客と消費者への貢献を目指しているのだと、今回のインタビューを通じて改めて感じた。